

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	玉島高等学校		所在地	倉敷市玉島阿賀崎3丁目1-1	
敷地面積	29, 161. 85 m ²		棟数	50 棟（計画記載対象 16 棟）	
延床面積	12, 232. 51 m ²			※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等）は500㎡以上 ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	高等学校教育のため				
【想定される自然災害】					
予想震度 6弱		津波 0. 3m～1. 0m未満		浸水 1. 0～2. 0m未満	
建築規制	市街化区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 （ 2017 年度 ）	電気 352,988 kwh	ガス 3,417 m ³	水道 4,493 m ³	燃料（ 灯油 ） 1,500 ℓ	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 倉敷市指定緊急避難場所・指定避難所（土砂災害、高潮、地震）				

1 施設内建物の概況

名 称	教室棟(74棟)22-1	教室棟(78棟)22-2	特別教室棟(86棟)24
築年(西暦)	1980 年	1981 年	1982 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	205.37 m ²	66.79 m ²	210.29 m ²
延床面積	822.90 m ²	267.18 m ²	663.52 m ²
主要な用途 (室名等)	多目的教室 理科演習室 書道教室	多目的教室 数学演習室 自習室	LL教室 コンピュータールーム
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適	圧縮強度 ※2 適	圧縮強度 ※2 適
	中性化 ※3 適	中性化 ※3 適	中性化 ※3 適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 適	建物傾斜 ※4 適	建物傾斜 ※4 適
	地盤沈下 ※5 適	地盤沈下 ※5 適	地盤沈下 ※5 適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	給排水設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	格技場(89棟)25-1	同窓会館(96棟)30	小体育室棟(97棟)25-2
築年(西暦)	1982 年	1984 年	1982 年
構 造	鉄骨 造 2 階	鉄骨 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 2 階
建築面積	386.98 m ²	151.70 m ²	378.45 m ²
延床面積	386.98 m ²	288.70 m ²	378.45 m ²
主要な用途 (室名等)	武道場	同窓会館	第2体育館
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	空調設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		適
	中性化 ※3		適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	屋根 外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	記念館棟(105棟)29	生物教室棟(37棟)2	家庭科教室棟(38棟)6
築年(西暦)	2004 年	1961 年	1961 年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 2 階
建築面積	250.01 m ²	378.00 m ²	233.78 m ²
延床面積	250.01 m ²	756.00 m ²	467.55 m ²
主要な用途 (室名等)	トレーニングルーム 多目的ホール	生物教室 物理教室	調理教室 被服教室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	消防設備(自動火災報知設備)	消防設備(自動火災報知設備)

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq$ 0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	教室棟(52棟)3-1	体育館(54棟)18	教室棟(55棟)3-3
築年(西暦)	1964 年	1967 年	1970 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄骨 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 4 階
建築面積	153.47 m ²	1,321.14 m ²	287.64 m ²
延床面積	306.95 m ²	1,563.19 m ²	1,124.64 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室	体育館	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備	空調設備 給排水設備 消火設備	電力設備(受変電設備) 空調設備 給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	不適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	特別教室棟(56棟)4-1	教室棟(57棟)3-2	特別教室棟(61棟)4-2
築年(西暦)	1971 年	1969 年	1972 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	260.82 m ²	65.02 m ²	212.76 m ²
延床面積	782.46 m ²	348.52 m ²	638.28 m ²
主要な用途 (室名等)	化学教室 社会教室 音楽教室	普通教室	化学教室 進路指導室 美術室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備	空調設備	空調設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適	不適	適
	中性化 ※3 適	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 適	適	適
	地盤沈下 ※5 適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	管理棟(62棟)4-3		
築年(西暦)	1973 年		
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階		
建築面積	561.50 m ²		
延床面積	1,505.20 m ²		
主要な用途 (室名等)	校長室 事務室 教員室		
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 電気設備(受変電設備) 給排水設備 消防設備(自動火災報知設備) 昇降機(小荷物用)		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適 中性化 ※3 適		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 適 地盤沈下 ※5 適		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
教室棟(74棟)22-1	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
教室棟(78棟)22-2	予防保全を図る。
特別教室棟(86棟)24	長寿命化改修を行う。
格技場(89棟)25-1	長寿命化改修を行う。
同窓会館(96棟)30	予防保全を図る。
小体育室棟(97棟)25-2	長寿命化改修を行う。
記念館棟(105棟)29	予防保全を図る。
生物教室棟(37棟)2	長寿命化改修を行う。
家庭科教室棟(38棟)6	長寿命化改修を行う。
教室棟(52棟)3-1	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
体育館(54棟)18	予防保全を図る。
教室棟(55棟)3-3	予防保全を図る。
特別教室棟(56棟)4-1	長寿命化改修を行う。
教室棟(57棟)3-2	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
特別教室棟(61棟)4-2	長寿命化改修を行う。
管理棟(62棟)4-3	長寿命化改修を行う。

3. 施設全体のスケジュール

(概 要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(86棟、89棟、97棟)2022年度以降設計・施工
(37棟)2024年度以降設計・施工
(38棟)2026年度以降設計・施工
(56棟、61棟、62棟)2019年度 設計 2020年度以降 施工

(単位:億円)

[illegible]

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
教室棟(55棟) 3-3	予防保全		予防保全を図る。								
特別教室棟(56棟) 4-1	長寿命化改修			設計	施工 7						
教室棟(57棟) 3-2	予防保全		予防保全を図る。								
特別教室棟(61棟) 4-2	長寿命化改修			設計 56棟 に含	施工 56棟に含						
管理棟(62棟) 4-3	長寿命化改修			設計 56棟 に含	施工 56棟に含						

4. 概算費用

総額 11億円(長寿命改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.3	教室棟(74棟)において、設備等の定期更新を追加
R6.3	生物教室棟(37棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更
R7.3	特別教室棟(86棟)、格技場(89棟)及び小体育室棟(97棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更